

## 第5章 教育

### 「短大・高専」、「大学・大学院」の割合が増加

15歳以上人口(3,176,601人)のうち、卒業者は2,929,933人、在学者は244,211人、未就学者は2,077人で、15歳以上人口に占める割合はそれぞれ92.2%、7.7%、0.1%となっています。

最終卒業学校の種類をみると、「小学校・中学校」が250,960人で15歳以上人口の7.9%を占め、「高校・旧中」は920,919人で29.0%、「短大・高専」は453,582人で14.3%、「大学・大学院」は816,542人で25.7%となっています。平成12年と比べると、「小学校・中学校」が30.6%、「高校・旧中」が14.5%の減少であるのに対し、「短大・高専」は7.9%、「大学・大学院」は20.7%の増加と高学歴化が進行しています。(表5-1)

表5-1 在学か否かの別・最終卒業学校の種類、男女別15歳以上人口(平成2年～22年)

男女、 教育の状況	15歳以上人口			割合(%)			増減率(%)	
	平成2年	12年	22年	平成2年	12年	22年	平成2年 ～12年	平成12年 ～22年
総数	2,651,769	2,940,204	3,176,601	100.0	100.0	100.0	10.9	8.0
卒業者 <sup>1)</sup>	2,349,003	2,683,629	2,929,933	88.6	91.3	92.2	14.2	9.2
小学校・中学校	430,793	361,496	250,960	16.2	12.3	7.9	△ 16.1	△ 30.6
高校・旧中	1,047,835	1,076,736	920,919	39.5	36.6	29.0	2.8	△ 14.5
短大・高専	307,872	420,415	453,582	11.6	14.3	14.3	36.6	7.9
大学・大学院	511,208	676,295	816,542	19.3	23.0	25.7	32.3	20.7
在学者	300,633	254,489	244,211	11.3	8.7	7.7	△ 15.3	△ 4.0
未就学者	2,133	2,086	2,077	0.1	0.1	0.1	△ 2.2	△ 0.4
男	1,355,640	1,484,181	1,583,778	100.0	100.0	100.0	9.5	6.7
卒業者 <sup>1)</sup>	1,189,580	1,344,481	1,450,968	87.8	90.6	91.6	13.0	7.9
小学校・中学校	205,842	170,401	118,370	15.2	11.5	7.5	△ 17.2	△ 30.5
高校・旧中	469,003	483,468	401,789	34.6	32.6	25.4	3.1	△ 16.9
短大・高専	90,746	115,245	117,900	6.7	7.8	7.4	27.0	2.3
大学・大学院	398,404	493,597	554,795	29.4	33.3	35.0	23.9	12.4
在学者	165,260	138,777	131,669	12.2	9.4	8.3	△ 16.0	△ 5.1
未就学者	800	923	866	0.1	0.1	0.1	15.4	△ 6.2
女	1,296,129	1,456,023	1,592,823	100.0	100.0	100.0	12.3	9.4
卒業者 <sup>1)</sup>	1,159,423	1,339,148	1,478,965	89.5	92.0	92.9	15.5	10.4
小学校・中学校	224,951	191,095	132,590	17.4	13.1	8.3	△ 15.1	△ 30.6
高校・旧中	578,832	593,268	519,130	44.7	40.7	32.6	2.5	△ 12.5
短大・高専	217,126	305,170	335,682	16.8	21.0	21.1	40.5	10.0
大学・大学院	112,804	182,698	261,747	8.7	12.5	16.4	62.0	43.3
在学者	135,373	115,712	112,542	10.4	7.9	7.1	△ 14.5	△ 2.7
未就学者	1,333	1,163	1,211	0.1	0.1	0.1	△ 12.8	4.1

1) 最終卒業学校の種類「不詳」を含む。

### 高等教育修了者の割合は 40.0%

最終卒業学校の種類を全国と比べると、「在学者」の割合は全国より 0.7 ポイント高くなっています。少子化の影響により、平成 12 年と比べ、「在学者」の割合は全国で 1.2 ポイント、横浜市で 1.0 ポイントそれぞれ低くなっています。

最終卒業学校の種類別割合をみると、横浜市は全国より「小学校・中学校」と「高校・旧中」の割合がそれぞれ 7.3 ポイント、8.5 ポイント低くなっていますが、「短大・高専」と「大学・大学院」の割合がそれぞれ 2.3 ポイント、9.6 ポイント高くなっています。平成 12 年と比べ、「大学・大学院」の割合は全国で 2.6 ポイント、横浜市で 2.7 ポイントそれぞれ高くなっています。

「高等教育」の割合を男女別にみると、平成 12 年と比べ、男性の「短大・高専」は 1.4 ポイントの低下で 17.5%、「大学・大学院」は 1.4 ポイントの上昇で 82.5%となっています。一方、女性の「短大・高専」は 6.4 ポイントの低下で 56.2%、「大学・大学院」は 6.4 ポイントの上昇で 43.8%となっており、女性の「大学・大学院」の割合の増加が目立っています。（表 5-2、5-3）

表 5-2 最終卒業学校の種類別 15 歳以上人口の割合（平成 2 年～22 年）(単位：%)

年次、地域	総数	卒業者					在学者	未就学者
		総数 1)	小学校・中学校	高校・旧中	短大・高専	大学・大学院		
平成 2 年								
横浜市	100.0	88.6	16.2	39.5	11.6	19.3	11.3	0.1
神奈川県	100.0	88.2	18.3	40.1	11.0	17.2	11.7	0.1
全国	100.0	89.5	28.4	40.7	8.4	10.7	10.2	0.2
12 年								
横浜市	100.0	91.3	12.3	36.6	14.3	23.0	8.7	0.1
神奈川県	100.0	91.1	13.9	38.0	13.9	20.7	8.8	0.1
全国	100.0	91.7	22.0	41.6	11.0	13.5	8.2	0.1
22 年								
横浜市	100.0	92.2	7.9	29.0	14.3	25.7	7.7	0.1
神奈川県	100.0	92.2	9.2	31.0	13.9	22.9	7.7	0.1
全国	100.0	92.9	15.2	37.5	12.0	16.1	7.0	0.1

表 5-3 男女別高等教育修了者の推移（平成 2 年～22 年）

男女	平成 2 年			12 年			22 年		
	高等教育	短大・高専	大学・大学院	高等教育	短大・高専	大学・大学院	高等教育	短大・高専	大学・大学院
実数									
総数	819,080	307,872	511,208	1,096,710	420,415	676,295	1,270,124	453,582	816,542
男	489,150	90,746	398,404	608,842	115,245	493,597	672,695	117,900	554,795
女	329,930	217,126	112,804	487,868	305,170	182,698	597,429	335,682	261,747
割合 (%)									
総数	100.0	37.6	62.4	100.0	38.3	61.7	100.0	35.7	64.3
男	100.0	18.6	81.4	100.0	18.9	81.1	100.0	17.5	82.5
女	100.0	65.8	34.2	100.0	62.6	37.4	100.0	56.2	43.8
増減率 (%)									
総数	-	-	-	33.9	36.6	32.3	15.8	7.9	20.7
男	-	-	-	24.5	27.0	23.9	10.5	2.3	12.4
女	-	-	-	47.9	40.5	62.0	22.5	10.0	43.3

注) 「短大・高専、大学・大学院」卒業者を「高等教育」修了者とした。